情報通信

テキスト分析のための統合環境TETDM

用途・応用分野

- テキストデータからの知識発見と意思決定支援
- 文章作成支援、文章作成スキル獲得支援

本技術の特徴・従来技術との比較

- テキストマイニングのための統合環境TETDM（https://tetdm.jp）は、データ分析による意思決定プロセス（図1）における、知識創発プロセスを含む枠組みとなっている
- 一つの統合環境の中で複数のツール（約50種類）を用いることができ新たな独自ツールを追加していく枠組みも用意されている
- ChatGPTを用いた自動分析にも対応している

技術の概要

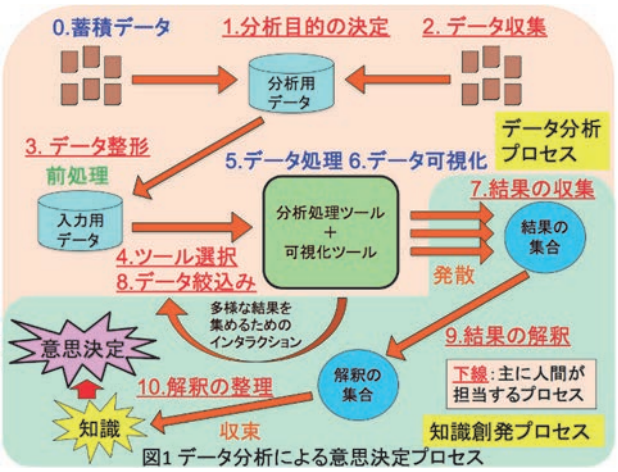

図1 データ分析による意思決定プロセス

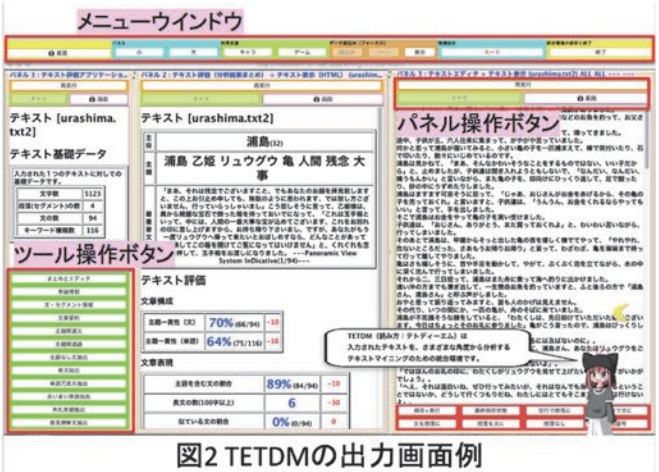

図2 TETDMの出力画面例

- データ分析よって知識を得て意思決定を行うためには、図1のプロセスを経る必要があるが図中の赤字のプロセスは基本的に人間が行う必要がある
- データから多くの手がかりを集めるデータ分析プロセスと、集めた手がかりを集約して知識を導く知識創発プロセスの両者を支援する
- 本来、人間が行うべきプロセスを、部分的にChatGPTに置き換えて実行することができる

特許・論文

＜論文＞

統合環境TETDMを用いた社会実践、砂山渡、他6名
人工知能学会論文誌、Vol.32, No.1, NFC-A, pp.1-12 (2017)

＜書籍＞

「フリーソフトTETDMで学ぶ実践データ分析」
砂山渡、コロナ社 (2020)

研究者

砂山　渡
ビジネスデータサイエンス学部
ビジネスデータサイエンス学科
砂山研究室

お問合わせ先
関西大学 社会連携部 産学官連携センター
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp